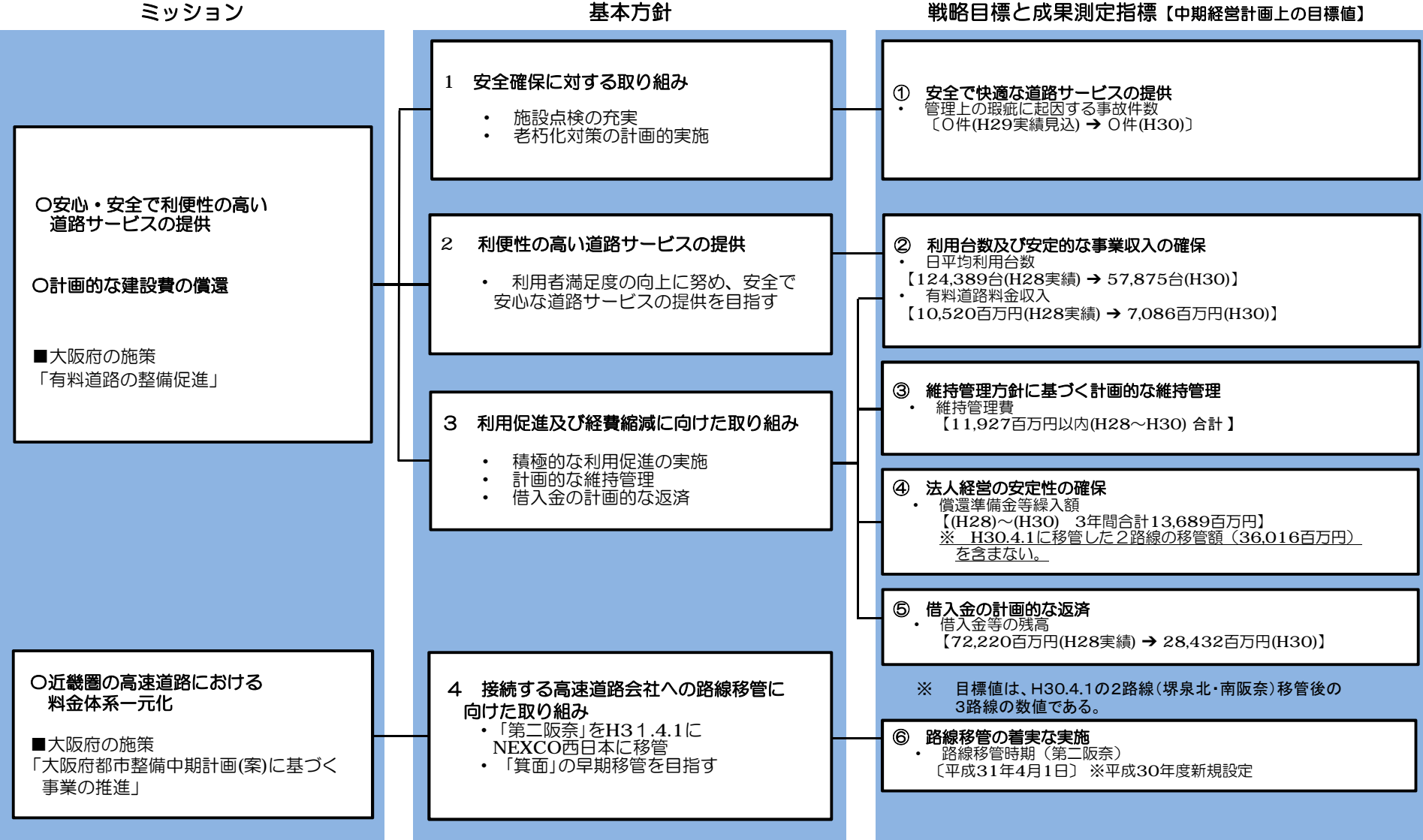


法人名	大阪府道路公社
作成（所管課）	都市整備部 交通道路室 道路整備課

○ 経営目標設定の考え方



○ H29年度の経営目標達成状況及びH30年度目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)											
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト (H29)	H28実績	H29目標	H30目標	ウエイト (H30)	中期経営計画(H29.5改定) (H28～H30)		H30目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						実績(見込)			H30目標	最終年度目標	
⑤ 借入金の計画的な返済	借入金等の残高		百万円	30	72,220	67,997 (67,312)	28,701	30	28,432	28,432	H30. 4の堺泉北・南阪奈の移管額36,016百万円及びH30料金収入、維持管理費、支払利息等の費用見通しに基づき設定
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)						具体的活動事項					
最重点とする理由、 経営上の位置付け	<p>・ 道路公社は、道路管理者に代って、府の出資金や国の貸付金、市中銀行等からの借入金により、道路整備・管理を有料道路事業として実施しており、定められた料金徴収期間に通行料金収入で借入金等を償還し、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引継ぐことになる。</p> <p>・ 従って、借入金等を着実に償還することが道路公社における事業の根幹となることから、最重要かつ総合的な指標である「借入金の計画的な返済(借入金等の残高)」を最重点の経営目標とする。</p> <p>・ この最重点目標を踏まえ、中期経営計画(平成29年5月改定)[H28～H30]に基づき、安心・安全な道路サービスの提供を行うとともに、利用促進及び経費節減を図ることにより、着実な借入金の償還を推進する。</p>										
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	<p>【課題】</p> <p>1. 事業許可の計画交通量と実績交通量との乖離による収支構造の悪化 3路線合計のH29年度計画交通量と実績見込交通量を比較すると、約15%の乖離があり、現状のままでは、建設費を全額償還することは非常に厳しい状況が見込まれ、収支構造に影響を及ぼしている。</p> <p>2. 道路インフラの老朽化 老朽化する道路インフラを適正な状態に保ち続けるためには今後多大なコストが見込まれるため、安心・安全、快適で利便性の高い道路サービスの提供と維持管理コストの縮減とのバランスを見極めながら、効率的・効果的な維持管理を行う必要がある。</p> <p>【改善点】</p> <p>「コスト縮減」、「利用促進」、「安心・安全で利便性の高い道路サービスの提供」を3本柱とする、更なる経営改善に取り組むことを経営方針とし、(平成29年5月改定)[H28～H30]に基づく経営改善を継続。</p> <p>1. <u>コスト縮減の取組み</u> 効率的・効果的な維持管理方法の実施により、引き続き維持管理費等の削減に取り組む。</p> <p>2. <u>利用促進の取組み</u> ホームページやチラシ、パンフレット等による広報活動等を行い、各路線の知名度向上に努めることにより利用促進を図る。(箕面有料道路の新名神直結等)</p> <p>3. <u>安心・安全で利便性の高い道路サービスの提供に向けた取組み</u> 「大阪府道路公社維持管理方針」に基づき、ライフサイクルコストを考慮した予防保全的対策の実施とともに、事故・渋滞対策の推進や利用者ニーズを反映したサービス向上に努める。</p>										
活動方針	<p>1. 安心・安全、快適で利便性の高い道路サービスを提供し、道路管理者として責任ある道路の維持管理を行う。</p> <p>2. 中期経営計画(平成29年5月改定)[H28～H30]を踏まえ、維持管理の効率化等によるコスト縮減、利用促進による収支改善に取り組み、計画的な借入金の償還を推進する。</p> <p>3. 堺泉北、南阪奈の2路線の移管(H30. 4. 1)に続き、第二阪奈の移管(H31. 4. 1)に向けた準備を進めるとともに、残る箕面についても、大阪府と連携し、早期移管に向けた取組みを推進する。</p>										
						<p>各路線における事業許可の計画交通量と実績が乖離している状況を踏まえ、中期計画(平成29年5月改定)に基づき、以下の取り組みを継続して進めることにより、収支改善を図り、借入金の着実な償還を推進する。</p> <p>①コスト縮減 維持管理費削減の継続・拡充に加え、LED照明の導入等、維持管理方法の工夫を行う。</p> <p>②利用促進 箕面有料道路は新名神と新御堂筋をつなぐ利便性の高い道路であることを、ホームページやチラシ・パンフレット等により広報活動を行うとともに、他路線においても、引き続き、周辺の観光施設などを紹介するパンフレットの作成や沿線物産事業者へのPR活動などに取り組み、各路線の知名度向上に努める。</p> <p>③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供 「大阪府道路公社維持管理方針」に基づき、日常的な維持管理業務を着実に実施していくとともに、5年に一度の定期点検、年次点検などの結果を基にライフサイクルコストを考慮した予防保全の考え方にに基づき、効率的・効果的な維持管理を推進するとともに、事故・渋滞対策の推進や利用者ニーズを反映したサービス向上に努める。</p> <p><維持管理手法・管理水準の具体例> 【トンネル設備】 点検における計測値などにより状態を把握できることから、状態監視型により管理を行い、機能に支障が出る前に工場整備により機能回復をはかることとし、3回目の工場整備のタイミングで更新の判断を行う。 【ETC設備・料金徴収設備】 常に健全に動作することが求められることから、状態を常時監視し、一定の年数(ETC設備は10年)を経た時点で更新を行う時間計画型により管理を行い、劣化が顕在化する前に適切な対策を講じる。 【橋梁補修】 5年毎に実施する定期点検により状態を把握し、各部材について点検結果が目標管理水準として定めた健全度70となる年次に補修工事を行う。</p>					

Ⅱ. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウエイト(H29)	H28実績	H29目標	H30目標	ウエイト(H30)	中期経営計画(改定案)(H28~H30)		H30目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
						実績(見込) < >は継続 3路線分			H30目標 (3路線)	最終年度目標 (3路線)		
① 安全で快適な道路サービスの提供	管理上の瑕疵に起因する事故件数		件	5	0	0	0	10	—	—	六穴こ、路上障害物、雪氷、安全施設不備等の管理瑕疵に起因する事故発生防止のため、365日24時間の交通管理パトロールに加え、公社職員による施設・設備の点検の実施により、事故発生ゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> お客様の通行の安全性向上を第一に考え、パトロール実施などにより、絶えず管理瑕疵に起因する事故の発生防止を図る。 道路構造物を常に良好な状態に保全し、構造物等施設点検の充実を図る。
						(0)						
	点検内容の充実	基	5	432	432	—	—	—	—	—	—	—
利用者満足度の向上(CS調査)	利用者満足度 (十分満足+やや満足+普通/全調査回答)		%	5	90.2	85.5	—	—	—	—	—	—
② 利用台数及び安定的な事業収入の確保	日平均利用台数		台	10	124,389	124,551	56,081	15	57,875	57,875	箕面の新名神開通初年度交通量の見直し、各路線の近年の交通量のすう勢に基づき設定	<ul style="list-style-type: none"> 通行台数実績の変動要因分析に基づき、ストック効果の発揮を踏まえながら、周辺道路ネットワークの機能強化などについて府と連携して関係機関に働きかける。 箕面有料道路は新名神と新御堂筋をつなぐ利便性の高い道路であることを、ホームページやチラシ・パンフレット等により広報活動を行う。 他路線においても、引き続き、周辺の観光施設などを紹介するパンフレットの作成や沿線物産事業者へのPR活動などに取り組み、各路線の知名度向上に努める。
						(125,578) <52,410>						
⑥ 路線移管の着実な実施	路線移管時期(堺東北・南阪奈)		移管時期	15	—	平成30年 4月1日	—	—	—	—	—	—
	路線移管時期(第二阪奈)	☆	移管時期	—	—	—	平成31年 4月1日	15	—	—	第二阪奈有料道路の移管にかかる関係者間での合意に基づき設定	<ul style="list-style-type: none"> 使い手の視点にたった、管理主体を超えたシームレスな料金体系の実現に向け、府と連携しH31年4月の第二阪奈有料道路のNEXCO西日本への移管を着実に進める。 <ol style="list-style-type: none"> FF、ETC整備、仮設モニター、地震計等設置(道路情報板・気象観測装置等)や料金所改修など 管理事務(交通管理、料金収受、緊急時体制、占用物件、協定覚書)の引継 地元対応 <ul style="list-style-type: none"> 環境監視、湧水・上水返還 区分地上権土地の分筆 資産台帳等の図書作成、引継

Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

② 利用台数及び安定的な事業収入の確保	有料道路料金収入		百万円	5	10,520	10,007	6,840	5	7,086	7,086	各路線の交通量見直し及び最近の料金単価に基づき設定	<ul style="list-style-type: none"> 通行台数実績の変動要因分析に基づき、ストック効果の発揮を踏まえながら、周辺道路ネットワークの機能強化などについて府と連携して関係機関に働きかける。 箕面有料道路は新名神と新御堂筋をつなぐ利便性の高い道路であることを、ホームページやチラシ・パンフレット等により広報活動を行う。 他路線においても、引き続き、周辺の観光施設などを紹介するパンフレットの作成や沿線物産事業者へのPR活動などに取り組み、各路線の知名度向上に努める。
③ 維持管理方針に基づく計画的な維持管理	維持管理費		百万円	15	4,406	4,437以内 (3,888) <2,365>	↓3,756以内	15	3,012以内	11,927以内 (3年間合計)	トンネル設備の更新など「維持管理方針」にもとづく費用及び第二阪奈の対距離料金制移行のためのETC整備など移管関連費用を計上	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府道路公社維持管理方針に基づき、コスト縮減を図りつつ、より効率的・効果的に維持管理を行う。
④ 法人経営の安定性の確保	償還準備金等繰入額		百万円	10	5,308	4,868 (5,437) <3,532>	↓2,595	10	3,609	13,689 (3年間合計) ※	料金収入及び維持管理費、支払利息等の費用見直しに基づき設定	<ul style="list-style-type: none"> 常にコストを意識し、業務の効率化等によるコスト削減や利用促進の拡大実施とともに、新たな経営改善の取り組みを加えて、更なる収支改善を図る。 ※ H30. 4. 1に移管する2路線の移管額(36,016百万円)を含まない。

【凡例】

・☆はH29からの新規項目
・×は目標値未達成

・↓は前年度実績比マイナスの目標値
・H30目標は、継続3路線に係るものであるため、H29の継続3路線の実績値を< >書きにしている。

法人名

大阪府道路公社

CS調査の実施概要

○ 平成29年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	第二阪奈有料道路利用者 (箕面有料道路利用者と隔年で実施)	824人	平成29年11月

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組	平成30年度にめざす状態
【第二阪奈（平成29年度実施）】 総合的な満足度 ・ 十分に満足：79人（9.6%） やや満足：303人（36.8%） ・ 普通：319人（38.7%） やや不満：97人（11.8%） ・ 非常に不満：22人（2.7%） 利用者の意見 ・ トンネルの照明が暗い	利用者からの意見を踏まえ、実施予定の施策。 ・ トンネル内照明のLED化の検討	・ 安心・安全で利便性の高い道路サービスの提供を図るため、利用者ニーズを的確に把握し、より一層の利用者サービスの向上に努める。 ・ トンネル内で照明のLED化の実施により、省電力によるコスト縮減とともに、安全性の向上、事故防止を図る。 ・ 自由意見で最も多く、評価が最も低い料金については、高速道路会社への移管により、管理主体間の継目のないシームレスな料金体系の実現に向けた取組を推進する中で、利用者の利便性と満足度の向上を図る。
【参考】【箕面（平成28年度実施）】 総合的な満足度 ・ 十分に満足：113人（13.9%） やや満足：294人（36.2%） ・ 普通：326人（40.1%） やや不満：57人（7.0%） ・ 非常に不満：13人（1.6%） 利用者の意見 ・ 出口渋滞が発生する ・ 認知度が低い	利用者からの意見を踏まえ、実施予定の施策。 ・ 南出口の3車線化を行うとともに、接続する一般道の信号現示変更や交差点改良等による渋滞対策の実施 ・ 新名神供用に伴い、ホームページやパンフレットによる広範囲でのPRの実施	・ 安心・安全で利便性の高い道路サービスの提供を図るため、利用者ニーズを的確に把握し、より一層の利用者サービスの向上に努める。 ・ 南出口の信号現示変更や交差点改良対策の実施により、渋滞解消を図り、より快適で利便性の高い道路サービスの提供を目指す。 ・ 箕面有料道路は新名神と新御堂筋をつなぐ利便性の高い道路であることを、ホームページやチラシ・パンフレット等により広報活動を実施することで、より一層の利用者サービスと認知度の向上に努める。 ・ 自由意見で最も多く、評価が最も低い料金については、事業主体、路線を超えた関西圏の料金体系一元化の取組の中で、府や関係機関と検討を進める。

○ 平成30年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
利用者アンケート調査	ネットリサーチによる	箕面有料道路利用者	約800人	平成30年11月

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値	29年度の実績値 (見込)
利用者満足度 (第二阪奈)	%	85.5	85.1

未達成の要因と分析	<p>○ H29年度の利用者満足度の実績は85.1%であり、H29年度目標値85.5%に対し、0.4%の減と下回る結果。</p> <p>○ 総合的な満足度として、「路面の管理状態」や「道路の利便」等の項目では、満足度の割合が不満度の割合を上回っている。その一方で「料金設定」の項目のみ不満度が満足度を大きく上回る結果となっている。</p> <p>○ 総合的な満足度集計結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○十分に満足 79人, やや満足 303人 (小計 382人) ※A ○普通 319人, 分からない 4人 (小計 323人) ○やや不満 97人, 非常に不満 22人 (小計 119人) ※B <p>【総合的な満足度の主な理由の割合】</p> <p>◇29年度 (項目) (十分に満足・やや満足) ※A (やや不満・非常に不満) ※B</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数 382人 (100%)</th> <th>回答数119人 (100%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面の管理状態</td> <td>24.1%</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>工事に伴う安全対策</td> <td>2.6%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>道路の利便</td> <td>45.5%</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>料金所のレーン配置</td> <td>3.4%</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>料金所スタッフの応対</td> <td>1.8%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>料金設定</td> <td>17.0% (H27年度:14.2%)</td> <td>83.2% (H27年度:85.8%)</td> </tr> <tr> <td>案内表示内容・標識数</td> <td>2.4%</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>道路交通情報</td> <td>1.0%</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.1%</td> <td>2.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 利用の日常化が進む中で、道路管理や安全対策に係る不満は限定的なものになっているが、料金設定に対する不満が前回に比べ圧倒的に多くなり、結果として利用者満足度がマイナスとなっている。(カッコ内の数値は27年度のもの。)</p>		回答数 382人 (100%)	回答数119人 (100%)	路面の管理状態	24.1%	0.8%	工事に伴う安全対策	2.6%	0.0%	道路の利便	45.5%	8.4%	料金所のレーン配置	3.4%	2.5%	料金所スタッフの応対	1.8%	0.0%	料金設定	17.0% (H27年度: 14.2%)	83.2% (H27年度: 85.8%)	案内表示内容・標識数	2.4%	1.7%	道路交通情報	1.0%	0.8%	その他	2.1%	2.5%
	回答数 382人 (100%)	回答数119人 (100%)																													
路面の管理状態	24.1%	0.8%																													
工事に伴う安全対策	2.6%	0.0%																													
道路の利便	45.5%	8.4%																													
料金所のレーン配置	3.4%	2.5%																													
料金所スタッフの応対	1.8%	0.0%																													
料金設定	17.0% (H27年度: 14.2%)	83.2% (H27年度: 85.8%)																													
案内表示内容・標識数	2.4%	1.7%																													
道路交通情報	1.0%	0.8%																													
その他	2.1%	2.5%																													

今後の改善方策	<p>○ 照明のLED化の実施により、省電力によるコスト縮減とともに、トンネルの照明が暗いという利用者意見を踏まえ、安全性の向上、事故防止を図り、満足度の向上を目指す。</p> <p>○ 不満度の主な理由に占める「料金設定」(83.2%)に対しては、高速道路会社への移管により、管理主体間の継目のないシームレスな料金体系の実現に向けた取組を推進する中で、利用者の利便性と満足度の向上を図る。</p> <p>※ 移管後の料金例 (ETC利用の普通車) 予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 全 区 間 (西石切～宝来) 820円→700円 トンネル区間 (西石切～壱分) 620円→470円
---------	---

法人名

大阪府道路公社

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

（※大阪府から成果測定指標の変更を提示した場合は除く）

〔1〕

●変更前

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値
点検内容の充実	基	432

●変更後

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値
—	—	—

成果測定指標の変更（廃止）を 希望する理由

- 公社路線の全橋脚の大半（405基）を占める高架道路である堺泉北及び南阪奈有料道路の路線移管（H30.4.1）により、現地調査による点検を廃止するもの。
- なお、今年度においても、公社職員による現地踏査により、残る3路線（鳥飼、第二阪奈、箕面）に係トンネル設備や残る橋脚等の点検を継続して実施する。

法人名

大阪府道路公社

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

（※大阪府から成果測定指標の変更を提示した場合は除く）

〔2〕

●変更前

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値
利用者満足度 (十分満足+やや満足+普通/全調査回答)	%	85.5 (第二阪奈) (参考) 90.2 (箕面：H28目標)

●変更後

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値
—	—	—

成果測定指標の変更（廃止）を 希望する理由

○これまで、**H26年度～H27年度**のCS調査の結果について、特に自由記載の意見・要望を反映し、公社として対応することで満足度向上に努め、**H28年度**まではその成果が満足度に反映されたものと考えている。

【例】

H26箕面：トンネル内情報板に出口までの距離を電光表示（**H27**）

H27第二阪奈：トンネル照明の**LED**化による視認性向上（**H29～30**）

○一方で、これまでのCS調査結果において、料金水準や渋滞に対する不満が多く、これらに対しては、有料道路の料金制度の限界や、一般道の改良・信号現示変更など大阪府や警察との連携が必要なものであり、公社だけの取組みだけで成果指標に十分に反映できるものでないことから採用を見送るもの。

【例】

H28箕面

：府と連携した南出口の信号現示変更や交差点改良対策（**H29～30**）

：新名神供用に伴う広範囲での**PR**の実施（**H29**）

○ただし、引続きCS調査は実施するものとしており、利用者から出される意見に対しては、これまでどおり対応する予定。

※総合的な満足度(やや不満)・(非常に不満)の回答者の主な理由割合

(項目)	H27第二阪奈	H28箕面	H29第二阪奈
路面の管理状態	0.8	7.1	0.8
工事に伴う安全対策	0.0	12.9	0.0
道路の利便	5.3	12.9	8.4
料金所のレーン配置	3.5	5.7	2.5
料金所スタッフの対応	1.8	1.4	0.0
料金設定	85.8	54.3	83.2
案内表示内容・標識数	0.9	1.4	1.7
道路交通情報	1.8	—	0.8
その他	0.0	4.3	2.5
(回答数)	(113人)	(70人)	(119人)

法人名

大阪府道路公社

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

（※大阪府から成果測定指標の変更を提示した場合は除く）

〔3〕

●変更前

29年度の 成果測定指標	単位	29年度の目標値
路線移管時期（堺泉北・南阪奈）	移管 時期	平成30年4月1日

●変更後

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値
路線移管時期（第二阪奈）	移管 時期	平成31年4月1日

成果測定指標の変更（廃止）を 希望する理由	<p>○堺泉北・南阪奈有料道路については、平成30年4月1日に移管が完了し目標を達成。</p> <p>○第二阪奈有料道路については、平成31年4月1日にNEXCO西日本へ移管することを関係者間で合意。</p>
--------------------------	--

■ H29年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	29年度の実績値 (見込)	30年度の目標値(※)
維持管理費(5路線)	百万円	3,888	3,756以内
〃 (3路線)		2,365	

※H30継続
3路線の数値

マイナス（現状維持）
目標の考え方

- 先行2路線（堺泉北・南阪奈）の移管（H30.4.1）により公社管理路線数が減少するものの、トンネル設備の更新など維持管理計画に基づく費用及び第二阪奈の対距離料金制移行のためのETC整備など移管関連費用を計上したことに伴い、維持管理費がH29の実績見込より増となることを踏まえ設定している。

〔2〕

成果測定指標	単位	29年度の実績値 (見込)	30年度の目標値(※)
償還準備金等繰入額(5路線)	百万円	5,437	2,595
〃 (3路線)		3,532	

※H30継続
3路線の数値

マイナス（現状維持）
目標の考え方

- 先行2路線（堺泉北・南阪奈）の移管（H30.4.1）により公社管理路線数が減少することに加えて、維持管理費が第二阪奈の移管関連費用により増加する結果、償還準備金等繰入額が減少することを踏まえ目標値を設定している。